

妊婦の方に RS ウイルスワクチンが接種できるようになりました

妊娠 24 週から 36 週の方に接種できる RS ウイルスワクチン「アプリスポ」が、当院でも接種できるようになりました。

RS ウイルス感染症は乳児がかかるとの多い疾患ですが、妊婦の方がワクチン接種することで、その体内に RS ウイルスに対する抗体が産生され、胎盤を通して赤ちゃんに移行します。それにより、出生後の赤ちゃんを RS ウイルスから守ることができます。兄弟から移ることが多く、特に第 2 子以降の方にお勧めです。

*アプリスポ筋注用(1 回 0.5ml 筋肉注射)

接種対象・・・妊娠 24 週から 36 週の妊婦の方
(推奨 28 週から 36 週)

接種費用・・・29,800 円(税込み)自費

効果・・・接種してから 2 週間程度で、抗体が胎児に
移行し、生後 6 か月まで有効性があります。



当院で接種を希望される方は、妊婦健診時にスタッフにお申し出ください。

*RS ウイルスとは

小児にとってとても一般的なウイルスで、1 歳までに約 50%、2 歳までにほぼ 100%の子ども達がこのウイルスに感染します。世界では RS ウイルスに関連した気道感染症が年間 3300 万件、入院が 360 万件、死亡が 10 万件おこっていると推定されています。日本でも、毎年 12~14 万人の 2 歳未満の子ども達が RS ウイルス感染症と診断され、約 3 万人が入院を必要としています。RS ウイルスは、生後間もない赤ちゃんが感染すると重症化する場合が多く、新生児にとってはとても怖い感染症の 1 つです。

*ワクチンによる予防

ワクチン接種は、入院を要するような重症な RS ウイルス感染症を生後 90 日の時点で約 80%、生後 180 日の時点で約 70%防ぐ効果があることが報告されています。副作用についても詳細に調べられていて、妊婦さんの接種した部位の痛みや腫れがでることはありますが、赤ちゃんや妊婦さんへの重篤な安全性の懸念は報告されていません。

国立成育医療研究センターホームページより